

# 令和4年度 年度計画の主な実績

- 法人運営については、法人設立後初年度の業務実績報告書・財務諸表等を提出し、法人の業務サイクルを確実に遂行
- 大学運営については、3ポリシー・カリキュラムの見直しなど教職協働による大学改革の議論・検討を本格化させるとともに、第三者評価では本学2回目の認証評価において適合認定
- 将来像については、地域からの要請を受け止められるよう、新学部の設置など本学の更なる発展に向け、慎重な議論・検討を開始

[ ]…業務実績報告書 No.

## 実績 1 戦略的な法人・大学運営の推進

### ○ 新たな教育研究環境の整備 [39]

#### 【新たな複合施設】

- ・福山市の理解・協力を得て、オープンでフレキシブルな空間の創出に向けた、施設整備の推進

#### 【学内情報システム】

- ・新たな情報教育の実現に向けた、情報処理演習室等パソコンの効果的かつ高度な活用方法の検討開始

#### 【学生のパソコン必携化】

- ・学生のICT活用の推進に向けた、2023年度入学生からのパソコン必携化の決定



【新たな複合施設 外観イメージ】

### ○ 将来像の検討 [39]

- ・新たに立ち上げた事務局3課の垣根を越えた事務局横断チーム「チームシナジー」による課題の整理、アイデアソン等の実施
- ・新学部の設置など大学改革の推進について、国の支援メニューの活用を見据えた情報収集、関係団体等との意見交換

## 実績 2 効率的な業務運営の推進

### ○ 事務の効率化・利便性の向上 [48]

- ・議事録作成支援システムの導入
- ・インターネット出願システムの運用開始
- ・2023年度運用開始の就職支援システムの構築
- ・一般選抜後期日程における受付順配席方式の2023年度導入に向けた先進大学への視察の実施
- ・他大学で外部委託をしている業務の情報収集

## 実績 3 地域連携の強化

### ○ 情報発信の強化 [28]

- ・教員の教育研究の内容等をまとめた研究シーズ集の制作



【研究シーズ集】

### ○ 学生・教職員が参画した地域と連携した取組の推進 [13] [30]

- ・教育学部の地域連携事業「FCU EDU+」の開始
- ・学生の研究活動やビジネスアイデア等を紹介する「福山市立大学アイデアピッチ」の開催
- ・企業、団体、福山市、地域等と連携した多様な取組を展開

#### 企業等との連携



【スポGOMI】

#### (株)中国銀行

- ・新たなマッチングの仕組みの構築

#### 福山シティFC

- ・経済波及効果に関する研究の実施、スポGOMIの大会開催

#### 福山市

- ・ワーケーションツアーの企画提案

#### 地域との連携



【関係人口創出プロジェクト】

#### 関係人口創出プロジェクト

- ・山野町の古民家再生、地域イベントへの参加

#### ボランティア活動の推進

- ・鞆の浦の海辺清掃

#### 空きキャパシティの利活用

- ・内海町の公園リノベーション

# その他の実績（年度計画の5つの分野など）

## 分野 ① 教育研究等の質の向上

### ○ カリキュラム検証・科目整備の検討 [1] [2] [4]

#### 【共通教育】

- ・ 学部横断的な初年次ゼミ（入門ゼミ）の検討開始
- ・ 「データサイエンス基礎Ⅰ・Ⅱ」の2023年度からの開講決定

#### 【教育学部】

- ・ 学部基礎科目・基幹科目・発展科目の見直し検討

#### 【都市経営学部】

- ・ 学部基礎科目・基幹科目の見直し検討

### ○ 学生への支援・学生の確保 [6] [7] [21]

- ・ 科研費獲得のためのインセンティブ制度を活用した、学会参加や図書館間相互利用サービスなど大学院生の研究活動を経済的に支援する制度の創設
- ・ 社会人向け大学院パンフレットの制作

### ○ 研究交流の推進 [16]

- ・ 児童教育学に関する議論や交流を深めるため、研究交流会・児童教育学シンポジウムを実施する「学術の日」の開催



【児童教育学シンポジウム】

## 分野 ② 業務運営の改善・効率化

### ○ 大学ガバナンスの構築 [39] [40] [41]

- ・ 理事長候補者の決定
- ・ 内部統制システムの整備
- ・ SD研修会の実施

### ○ 業務運営の効率化・高度化 [42] [45] [46]

- ・ 教員公募における応募書類の全国統一的な書式への変更、電子応募の導入
- ・ 業務経験等に応じた事務局職員の研修計画の策定
- ・ 教員の人事評価に関する被評価者アンケートの実施

## 分野 ③ 自己点検・評価、情報提供

### ○ 教育研究活動等の改善 [51] [53]

- ・ 自己評価書の公表、認証評価の受審

### ○ 大学運営の透明性確保 [55]

- ・ データの分析・活用に関する各種研修会への参加



【認証評価 認定証】

## 分野 ④ 財務内容の改善

### ○ 自己収入の確保 [56] [57] [60]

- ・ 科研費獲得のためのインセンティブ制度の運用
- ・ 外部研究資金の獲得に向けた支援の実施
- ・ 公開講座の有料化など多様な財源確保策の検討

## 分野 ⑤ その他

### ○ 施設や設備の整備・活用 [63] [64] [66]

- ・ 整備計画・維持管理計画の策定、照明のLED化着手
- ・ 大学施設や設備の有償貸出しの実施

### ○ 安心・安全の確保 [67] [68]

- ・ 危機管理研修会・想定訓練の実施

## 参考 ウィズコロナに対応した取組 [10] [19] [35] [38]

- ・ 附属図書館の学外利用者の受入再開
- ・ 来場型オープンキャンパスの3年ぶりの開催
- ・ 公開講座・ワークショップの対面開催の再開、オンデマンド配信の開始
- ・ 海外大学とのオンラインによるセミナー・交流会の実施



【ワークショップ】